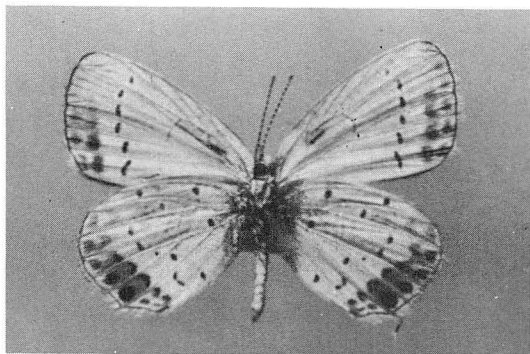


石垣島でツバメシジミ採集

八 木 弘



1982年7月30日より8月8日まで2回目の八重山の蝶採集行で7月31日石垣島川平部落で偶然新鮮なツバメシジミ♂個体1頭を採集しましたので報告致します。

本種は奄美大島以南の離島には棲息していない種とされている。採集した時にはまさか石垣島でツバメシジミが採集出来様など夢にも思わなかったので、タイワンツバメシジミを採集したものと早合点した。

タイワンツバメシジミも沖縄本島までで八重山には棲息していないとされている。

今回同行した入江氏が1981年11月上旬に石垣島でタイワンツバメシジミを1♂採集した事を播磨蝶友会誌No 6 P 26で発表しているが、この時は沖縄本島での採集の間違いではないかと疑問視されているので、私の採集によって、入江氏の石垣島でのタイワンツバメシジミの採集発表が間違いでなかった事が裏付けされるものと考えていた。

展翅後の観察の結果はどう見ても普通のツバメシジミである。念のため、佐々木、入江両氏の同定を求め両氏の同定の結果もツバメシジミに間違いないと認定される。

迷蝶か？偶産蝶か？新鮮度から見る限りでは迷蝶とは思えない。偶産蝶なれば母蝶はいずれからどの様にして迷い込んだのであろうか。興味あるところである。

台風シーズンには南方の蝶が台風により押し流され本土の各地で採集される機会も多い様であるが本土から気流に乗ってあの小さなシジミ蝶が本土から1,000数百キロ離れた石垣島まで渡れるとも考えられないし、航空機のバンカー内にまぎれ込み侵入するとしても本土からの航空便も沖縄本島までで石垣島までの直行便はないとすればまず沖縄本島に侵入し偶産蝶発生その内

の幾頭かが再び南西航空のバンカー内にまぎれ込み石垣島に侵入し石垣空港から約20キロ離れた川平で偶産したと考えるべきだろうか？いずれにしても仮想の域を出ないものではあるが、現在の様に航空機の往來の頻繁な状態から不可能でもない様にも思われる。

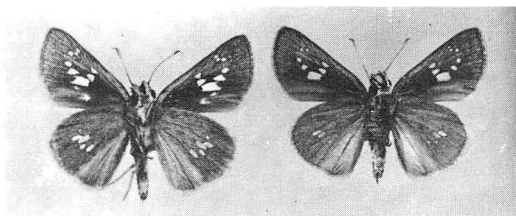
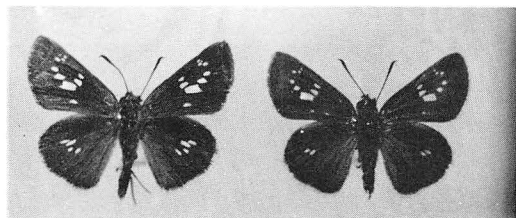
Hiroshi Yagi

〒678 相生市

オオチャバネセセリ (*Polytremis pellucida*) の斑紋異常型

佐々木 薫

1983年6月25日蝶友八木弘、入江照夫の両氏と養父郡関宮町、杉ヶ沢高原へ蝶の採集行をした際、採集したもので写真でわかるように後翅表裏両面の白紋が正常な個体では4個鮮明に現れるものが2個しか現れていない斑紋異常型を採集しているので報告する。



写真上：（左：正常型表面、右：異常型表面）

写真下：（左：正常型裏面、右：異常型裏面）

採集地 兵庫県養父郡関宮町 杉ヶ沢高原

採集日 25 VI 1983

採集者 佐々木薫

最後に写真を撮って頂いた入江照夫氏に深くお礼を申し上げる。

Kaoru Sasaki

〒678 相生市